

大藏省
間も苦情を増し或は決りしに
りて以て之を一省小管せん
土地之廣狹錯乱を糾正し内務省
之主勢地價を以て租税之増減を
計し其大蔵省之勢を以て決
して之を一省之均等を得るに依り
暫く各省中地租及ぶる勢を
以て役爲らざりて其之屬する
勢を擔
考悉く理し一成功し其各其
主勢
に察し送致し其之及若之を

尋常するの勢も如く彼此通識
亦
取らざるに於て其之均等
難く
在りしを民心に向て其之
不易易
候と存し其前議速に採
用
有之に據りて其之及若
許し
ハ心院に以て其由一
案
其
可なり也

明治七年二月

租税頭松方西成

大蔵省大隈重信殿

大蔵省

大 清 省
追々修訂の制もその爲の章程を以て
以参考に供す

事務章程

地租改正の事タル至大至重ニレテ其
関涉スル所内務大藏兩省ニ在リ
之ヲ当務ニ混レ各其所管ノ各寮ニ
於テ區分處置スル事多岐ニ出テ
矛盾礙滞ノ弊ヲ生レ其成績ヲ誤ル
ヲ以テ特ニ地租改正事務局ヲ置キ之
ヲ專管セシム仍テ其職制章程ヲ定
ムル左ノ如シ

第一章

上諭ヲ奉體メ地租改正法ニ照準シ全國
地租ノ輕重ヲ計リ各地其當ヲ得セシ
ムルヲ以テ本務トス

第二章

凡規則ヲ加除變更スルヲアラハ之ヲ正
院ニ乞ヒ其法案ヲ作り上裁ヲ經テ施
行スヘシ

第三章

凡内務大藏兩省ニ於テ地租改正事
務ニ關涉アルモノハ總テ該局ニ通議スル

法下ス

第四章

土地ノ廣狹ヲ丈量シ錯亂ヲ糾正シ其名
稱ヲ區別シ地價ヲ定メ地租ノ増減ヲ
審案スルヲ該局掌管事務ノ要目トス

第五章

地租改正ニ管スル諸伺届ノ類ハ直ニ之
ヲ此局ニ受付ケ決判ノ後總裁ニ名ヲ
以テ指令スヘシ

第六章

各縣改正ノ業終ルニ隨テ順次其書類
ヲ整頓シ之ヲ主務ノ各寮ニ送致スヘシ

地租改正車務局

職制

總裁

上諭ヲ奉體シ地租改正一切ノ車
務ヲ管轄シ其當ヲ得セシムル責

ニ任ス

長時宜ヲ視察シ各地方改正ニ着目シ

緩急前後ヲ決定スルノ全權ヲ有ス

得セシムルヲ掌ル

各地改正ノ先後緩急及ノ地價ノ當

各縣改正ノ業終ルニ隨テ順次其書類ヲ整頓シ之ヲ主務ノ各寮ニ送致スヘシ

地租改正事務局

職制

總裁

上諭ヲ奉體シ地租改正一切ノ事

長

局中一切ノ事務ヲ擔當シ其當ヲ

得セシムルヲ掌ル

各地改正ノ先後緩急及シ地價ノ當

（意）急激改正ノ事宜シク全社ニ對シテ
細宜ク察スルニ由リテ其ノ善否ヲ考

二等三等官ノ内一名

事務卿大藏卿兼任之

否ヲ決メ成規ヲ増減変更スル等、
之ヲ総裁ニ諮リ決判シ成規例格
アルモノハ專決スルヲ得ヘシ

局中参判以下ノ能否ヲ視察シ其
進退黜陟及便宜差遣スルホハ其
昔ヲ総裁ニ具狀シ其決判ヲ乞フ

副長

四等官

職掌長ニ亞ク

参判

五等官ヨリ七等官ニ至ル

局中ノ事務ヲ裁判シ長ニ對シ

其當否ヲ弁論スルノ權ヲ有シ事
務ヲ整理スルノ責ニ任ス

〇〇 八等官ヨリ十三等ニ至ル

成規定例ヲ照查シテ各地方ノ申
牒ヲ勘案シ之カ指令案ヲ作り
前後矛盾礙滞ナキヲ要ス時トシ
テ局長ノ命ニ隨テ文案ヲ勘署シ
新議ヲ草スルヲアルヘシ

各地方へ汎差シ地方官ト戮力実
地調理セシムル寸ハ殊ニ命令扶ヲ振

与スヘ

主簿

十四等十五等

局中請付書算記録等ノ諸務ヲ
掌リ錯乱誤失ナキヲ要ス

本局ノ官員ハ事務ノ繁竹間ニ因テ増
減シ其負ヲ定メス